

第 42 回世界マリアニスト祈りの日
2026 年 10 月 11 日
エル・コブレの慈しみの聖母教区立巡礼堂
ピナール・デル・リオ(キューバ)

巡礼堂の歴史



1920 年代、キューバ島西端にあるピナール・デル・リオ市は、他の多くの町と同様に、クアルテレスと呼ばれる丘に発展し、広がりました。

この地域に定住した近隣の信者たちグループは、カテドラルが遠すぎたため当時の司教にこの地域に小さな教会を建ててほしいと要望しました。司教はそれが非常に良い考えだと思いましたが、建設のための資金がありませんでした。

この近隣住民のグループは司教の支持を受けて活動を開始し、資金調達のため

の活動を組織しました。司教は建築家を雇い、キューバの守護聖人であるエル・コブレの慈しみの聖母に捧げられた小聖堂の建設を開始しました。

ある家族がスペインに聖母像の制作を依頼しましたが、これはオリジナルのご像にふさわしいレプリカでした。この小聖堂は 1923 年 9 月 7 日に献堂され、8 日(慈しみの聖母の祝日)に礼拝が開始されました。

小聖堂の周りには、聖母に捧げられたこの小聖堂を誇りに思う熱心な共同体が形成されました。1979 年に小聖堂は小教区に指定され、その最初の主任司祭に伝説のカヤタノ神父が任命されました(彼は 1923 年に小聖堂が献堂された時に初ミサを執り行った司祭でした)。彼は 1986 年まで主任司祭を務めました。

1923 年 9 月 8 日から 2023 年の 100 周年を記念して、司教はエル・コブレの慈しみの聖母の教区立聖堂としての認定をローマに要請し、この要請は認められ、ピナール・デル・リオのキリスト教徒たちに誇りをもたらしています。

キューバの守護聖人、慈しみの聖母

16 世紀と 17 世紀には、ハリケーンや海賊に襲われた多くの難破船がこの付近の沿岸に見られたため、海に浮かぶ木製の像を見つけるのは困難ではありませんでした。聖母マリアの崇敬とスペインからのマリア像の発見により、それが神の母の奇跡的な介入を説明し得る結果ととらえることが、当時のアメリカではごく普通のことでした。

1613 年頃、島の東部地域の北岸に位置するキューバ最大の湾であるニペ湾に像が現れました。3 人の奴隷、10 歳の黒人少年(ファン・モレノ)と、この地域の銅鉱山で働く先住民の兄弟 2 人 (ファンとロドリゴ・デ・オヨス)がその像を見つけました。

「三人のファン」とよく呼ばれたこの三人は、塩を探し求めて出かけていましたが、板に乗って浮遊している幼子イエスを抱いた聖母像(今日キューバ人の崇敬の対象となっているオリジナルのご像)を見つけました。像には「私は慈しみの聖母です」と刻まれていました。これはおそらく、マリアがその称号で崇敬されたスペインのトレド近郊のイジェスカスからの像だったと考えられます。

この発見は信心と熱狂を生み出しました。非常に質素な材料で即座に建てられた簡素な小聖堂は、時を経て現在の島東部エル・コブレの偉大な聖堂へと変わっていきました。

慈しみの聖母は、あらゆる出自、特質、宗教的経験をもつすべてのキューバ人、すなわち、アフロ・キューバ人、先住民、カトリック信者などにとって、最も受け入れられ、尊敬され、愛されるキューバ人のアイデンティティの象徴となっています。



聖堂内部の像の歴史

これはピナル・デル・リオのある家族の依頼によってスペインで作成された貴重な木彫りの彫刻です。1923 年の小聖堂の落成のためにここに運ばれました。この作品は二つの部分から成っており、像自体はエル・コブレに保存されているオリジナルの大きさです。下部は大理石の天蓋に合わせて追加されました。この部分は、荒れた海に漂う船と、海に浮かんでいるこのご像を見た「三人のファン」を描いています。金とエナメル十字架は、小聖堂を奉献した教区の第 2 代司教から贈られました。像は 2023 年の 100 周年を記念して最近修復されました。



説 明

冠をかぶり、青い縁取りの金色のマントとドレスを身にまとった聖母マリア。左手に地球(世界)を抱えて右手で祝福をなさっているイエスを、その左腕に抱えている聖母マリア。マリアは右手に十字架を持っています。彼女の足元には月と天使、そして「三人のファン」が描かれた船があります。

聖堂の外の像

1986 年、小教区評議員会のイニシアチブで、教会の位置する通りを通り過ぎる多くのピナル・デル・リオ住民が見ることができる聖像が、小さな屋外庭園に設置されました。

ハバナの聖アントニオ小教区教会のフランシスコ会の神父たちはこの像を聖具室に置いていましたが、小聖堂に寄贈しました。イタリアのカッラーラ大理石で彫刻されたものでした。こ

のご像は 1988 年 9 月 8 日に現在の場所に設置され、その日以来、毎日多くの人々が立ち止まり、十字を切り、聖母を見つめ、足元に花が途切れることは決してありません。

キューバにおけるマリアニスト家族の現存に関する覚書

スペインからの最初のマリアニスト修道者は、2003 年 1 月にキューバ(カマグエイ)に到着しました。その後、マリエル(ピナール・デル・リオ教区)に第二の共同体が開設されました。このマリアニスト修道者は、コロンビア滞在中に出会い、活動していたマリアニストの友人であるホルヘ・セルパ司教の招待を受けて 2010 年 9 月にこの教区に到着しました。

2014 年以降、マリアニスト修道共同体は一つだけとなり、「ラ・カリダッド（慈しみの聖母）の巡礼堂・小教区」の司牧責任を任されています。現在、この共同体は 3 人のスペイン人修道者で構成されています。

最初の信徒マリアニスト共同体が誕生したのは、この巡礼堂・小教区です。現在、マリアニストの信徒共同体は 5 つあります。サン・フランシスコ・デ・アシス小教区周辺のエル・カレロに 2 つ、ラ・カリダッドに約 45 名から成る共同体が 3 つあります。



祈りの意向

今、私たちは、マリアの絶え間ない現存に感謝し、マリアニスト家族に新たな召命の希望を私たちの中に再び呼び起こすために、また、至るところでマリアの霊的な母性が永続するよう、世界中で祈りのうちに一つになります。

1. この不確実で困難な時代にあって、教会と、すべてのキリスト者一人ひとりがすべての人への神の愛の重要で継続的な証し人となりますように：

主よ、私たちの願いを聞き入れてください。

2. 私たちの教皇レオ 14 世のために祈りましょう。主が彼の使命を支えて下さり、教皇が知恵と謙遜と真理をもって人々を導く真に良い牧者となりますように：

主よ、私たちの願いを……

3. この世界のすべての男女、特に何らかの必要を抱える人々のために、また、孤独で、誰にも祈ってもらえないすべての人のために祈りましょう：主よ、私たちの願いを…

4. マリアニスト家族の各枝と、そのすべてのメンバーのために祈りましょう。私たちが召された召命に従って生き、どこにいても、私たちが住んでいる場所で宣教師となることが出来ますように。主よ、私たちの願いを……

5. 若者たちのために祈りましょう。彼らが、人間的な人、霊的な人として成長する助けとなる人生のモデルを、すなわち、新しい人間性を作り上げるうえで良い男性、良い女性として成長する助けとなる人生のモデルを見出だすことができますように。

主よ、私たちの願いを……

6. キリスト教生活への召命、およびマリアニスト家族の各枝への召命のために祈りましょう。創立者が望んだように、私たちが一丸となって「聖人の民」を証しすることができますように。主よ、私たちの願いを……

自由に他の意向を加えることができます。

主の祈り、アヴェ・マリアの祈り、栄昌

慈しみの聖母への祈り

海に浮かび、平和の使者として来られた慈しみの聖マリアよ。

あなたはすべてのキューバ人の母です。

聖なる神の母よ、子供としての愛であなたを敬うために

私たちはあなたの御許へ参ります。

あなたの母親としての心に、私たちの不安と希望を、

私たちの努力と嘆願を託します。

引き裂かれた祖国のために：私たちが皆一つになって

心身の健康、平和、調和を築けますように。

家族のために：すべての家族が忠実と愛のうちに生きられますように。

子どもたちのために：彼らが身体的にも精神的にも健康に育ちますように。

若者たちのために：彼らが人生と、人生に意味を与えるものにおいて、

自分の信仰、自分の責任を確信することができますように。

病人や疎外された人々、孤独の中で苦しむ人々、故郷から遠く離れた人々、

そして心の中で苦しむすべての者のために祈ります。

キューバ教会のために、そして司祭と助祭、修道者と信徒によるその宣教活動のために祈ります。

私たちキューバの人々の中に正義と愛の勝利がもたらされるよう祈ります。

慈しみの母よ、私たちはあなたのご加護のもとに逃れます！

あなたはすべての女性の中で祝福され、あなたの胎内の子、イエスも祝福されています！

栄光と力がイエスに、終わりなく永遠にありますように。アーメン。

